谷戸山と里山四季だより
2004年 2月号

（財）神奈川県公園協会
県立座間谷戸山公園管理事務所
〒228-0024 座間市入谷3-5994
TEL.046-257-8388　FAX.046-257-8533

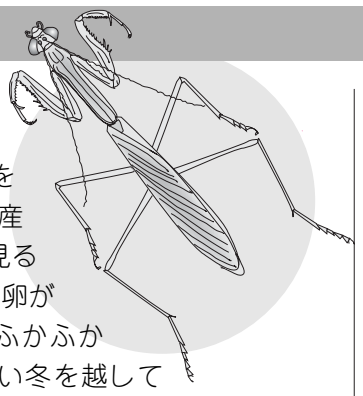
どこにいるの？ 冬の昆虫たち

冬の昆虫たちの暮らしぶり その１

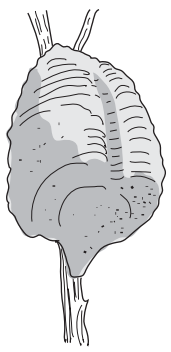
トンボやチョウの飛ぶ姿、セミやコオロギの鳴き声など、夏に私たちを楽しませてくれた虫たちは今の時期、すっかり姿が見られませんね。でも、夏が終わってしまったからといって、全ての昆虫が死んでしまうわけではないのです。子孫を残していくためには寒い冬も乗り切らなくてはなりません。では、寒さが一番厳しいこの時期、虫たちはどうしているのでしょう。今号と次号に分けて紹介したいと思います。

卵で冬越し

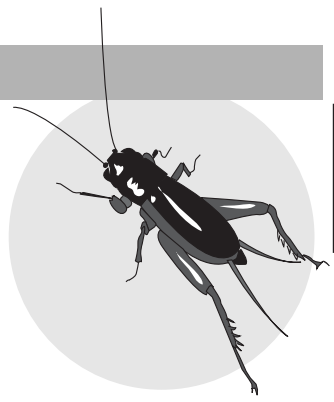
カマキリの仲間



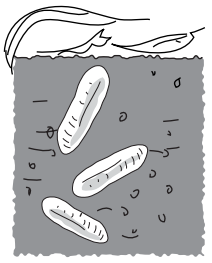
秋から冬に枯れた草の間や木の小枝を注意して見ると、カマキリの卵のうが産みつけられているのを見ることができます。中には卵がたくさん入っていて、ふかふかとしたこの卵のうで寒い冬を越しています。カマキリの種類によって卵のうの大きさや形が違い、園内でもよく探すと何種類かを見つけることができます。どんな種類のカマキリがいるか、調べてみましょう。



コオロギやバッタの仲間



カマキリと同じように、コオロギやバッタの仲間も多くが卵で冬を越します。ただし、卵は土の中や枯草の茎に産み付けられます。



←コオロギの卵
コオロギは、地中にばらばらに産卵します。一方、バッタは泡状にまとめて産卵します。

幼虫で冬越し

土の中で

カブトムシ



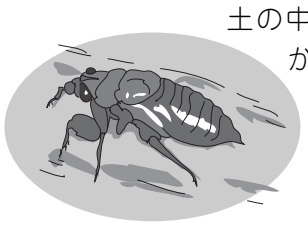
夏の終わりに卵からかえった幼虫は、落ち葉や枯れ草の積もった土の中で冬を越します。餌が豊富で冷たい風から身を守ってくれる腐葉土は、彼らにとって快適な環境なのでしょう。



セミの仲間



成虫の期間が短く、土の中で幼虫で何年も過ごすセミの仲間たち。アブラゼミなどは、木の中に産みつけられた最初の年は、意外にも卵のまま冬を越します。土の中では植物の根から樹液を吸って生活しています。

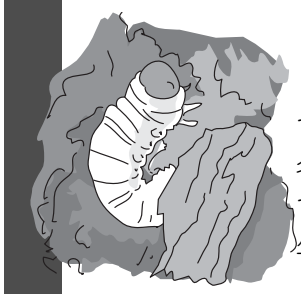


木の中で

クワガタムシやカミキリムシの仲間

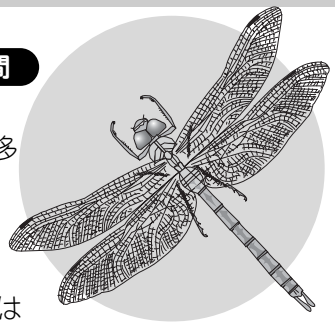
クワガタムシやカミキリムシの幼虫は、枯れたり弱ったりした木の中で、幹を食べ進みながら、冬を越します。ひと冬だけでなく、成虫になるのに何年もかかるものも多くいます。



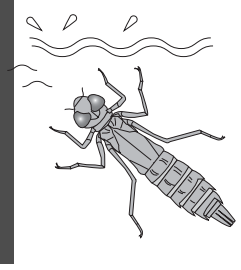


水の中で

トンボの仲間



トンボの仲間の多くは「ヤゴ」として水の中で冬を越します。園内を歩いての観察は難しいですが、夏に注意して水辺を探すと、成虫へと羽化した後のぬけがらを見つけることができるかもしれません。



ホタルの仲間

園内で見られるゲンジボタルなどは、水の中で幼虫で冬を越します。非常に小さく、石の下に隠れていることが多いため、これも見つけるのは難しいです。夏になって成虫が幻想的な姿を見せてくれるのを待ちましょう。

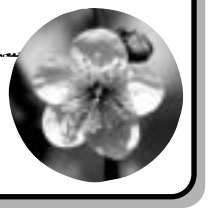




春のたより

伝説の丘では、もう少しで梅の花が咲きそうです。梅の香りで春を先取りするのはいかがですか？

また、皆さんも春のたよりを見つけられましたら、ぜひ私たちに教えて下さい。



2月の案内板

●「グリーンタフ」定例自然観察会

・日　　時：2月15日（日）13：00～15：00
　　※小雨決行、荒天中止
・集　　合：座間谷戸山公園　里山体験館前
・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
・問い合わせ：「グリーンタフ」（神奈川県自然観察指導員連絡会）
　　代　表　一杉敏登　TEL.046-238-4355

●市民参加ボランティア「里山保全隊」

・日　　時：2月21日（土）10：00～15：00　※雨天中止
・集　　合：座間谷戸山公園　里山体験館前
・申し込み：必要ありません。当日集合場所にお集まりください。
・内　　容：「昆虫の森」の除伐、間伐を行います。
・募集対象：里山保全のボランティア活動に興味のある方ならどなたでも
・持 ち 物：作業の出来る服装、タオル、昼食、飲み物、軍手
・問い合わせ：公園管理事務所　TEL.046-257-8388



◎ボランティア活動報告

谷戸山公園運営会議に参加している団体のみなさんの協力により、昨年11月30日と今年1月4日にわき水の谷にある湿地部分を利用して、ビオトープ沼を作る作業を行いました。ここは今まで、カエルやトンボなどが産卵するには十分な深さの水がありませんでした。そこで、積もっている落ち葉や泥を取り除いて水が20cm程の深さで溜まるようにしました。これからも、沼が埋まらないように泥を取り除いたり、生き物たちの調査を続けていく予定です。



◎パークセンター「レクチャールーム」をご利用下さい

6月にオープンしたパークセンターには、園内での総合学習や自然学習、研修などに利用できるレクチャールームがあります。50人程度までの利用が可能で、スライドやプロジェクターの使用もできます。詳しいことについては、管理事務所までお問い合わせください。

◎谷戸山公園のウェブサイトをご覧下さい

谷戸山公園のウェブサイトでは、園内の紹介や、最新のイベント情報、自然情報などを発信しています。皆さまから寄せられた写真を使った「谷戸山生き物図鑑」も作成中です。また、これまでの四季だよりのバックナンバーもご覧いただけます。
ぜひ、アクセスしてみて下さい。
http://www.zamayatoyama.kanagawa-park.or.jp/

ウェブサイト
●http://www.zamayatoyama.kanagawa-park.or.jp/
メールアドレス
●yatoyama@kanagawa-park.or.jp

お願い

◎無断転載、コピー大歓迎です。
　どんどんお使いください。
◎みなさんが座間谷戸山公園でとった観察メモやイラスト、小さな発見や気づいたこと、なんでもOK。管理事務所へ持ってきてください。谷戸山里山四季だよりの記事や自然情報の中で紹介させていただきます。

交通案内図

